

令和5年度 保護者アンケート集計結果

4:よくあてはまる
 3:ややあてはまる
 2:あまりあてはまらない
 1:まったくあてはまらない

評価項目		全学年の評価割合					
		4	3	2	1	平均点	昨年度
1	学校は、教育目標や活動の様子をお便りや学級PTA、個別面談で知らせ	50.3	46.2	2.2	0.4	3.5	3.5
2	学校は、授業を工夫し、学力向上に努めている。	38.4	49.2	2.2	0.3	3.4	3.4
3	学校は、道徳の時間などの学習をとおして、心の教育に努めている。	34.3	48.4	2.1	0.6	3.4	3.5
4	学校は、けがや交通事故防止、不審者対策などの安全指導に努めている。	39.5	49.3	2.2	0.4	3.4	3.4
5	学校は、校舎内外の環境整備に努めている。	42.4	49.5	2.4	0.1	3.4	3.5
6	学校は、児童や親の連絡・相談に適切に対応している。	45.4	48.5	3.2	0.6	3.4	3.6
7	学校は担任だけでなく、職員全体で子供に寄り添う指導に努めている。	34.8	49.4	3.2	0.3	3.4	3
8	お子さんは、早寝早起きに努めている。	24.5	53.5	17.4	4.5	3	3.1
9	お子さんは、ごはんを毎食しっかり摂っている。	66.1	29.0	4.2	0.7	3.6	
10	お子さんは、元気に登校している。	64.3	31.1	3.2	1.4	3.6	3.7
11	お子さんは、学校が楽しそうである。	54.5	38.7	4.2	1.2	3.5	
12	お子さんは、進んで家族や地域の人にあいさつをしている。	19.5	55.4	20.3	2.9	2.9	3.1
13	お子さんは、家庭学習に取り組んでいる。	28.0	56.3	11.8	3.0	3.1	3.2
14	お子さんは、家庭で読書をしている。	21.3	31.4	32.3	14.9	2.6	
15	お子さんは、家庭で決めた約束を守ってメディアコントロールに取り組んで	15.2	41.4	32.2	11.2	2.6	

※ 合計が100%とならないのは、保護者用アンケートのそれぞれの選択肢に「0. わからない」があるため。

考察
<p>・昨年度の数値と比べると、「7 職員全体で子供に寄り添う指導」については0.4P評価が上がった。ここ数年、本項目については高い評価が得られていなかったが、子供たちの指導や保護者の相談に対して複数で対応するといった組織的な指導について評価していただいたと考えている。その他の項目についても昨年度とほぼ変わらない評価であったが、95%以上の児童が肯定的な評価をしているものが多く、概ね満足できる状況であった。ただし、「10 元気に登校」「11 学校が楽しそう」の項目については、100%の肯定的評価を目指さなければならないものであることから、原因を精査し、相談員やSCとも十分な連携をしながら改善を図りたい。また、全ての子供にとって「できた」「わかった」を実感できるような授業を目指す。</p> <p>・「12 進んで家族や地域の人へあいさつをしている」の項目については、児童アンケート同様に昨年度より評価が下がった。教師の指導も必要だが、ここ2年重点的な指導をしても変わらない現状があるので、子供たち自身が内発的に「あいさついっぱい」の学校を目指すことが必要であるように感じる。児童会を中心とした取組を引き出すことや学級活動の指導の充実により、意識の向上を図りたい。</p> <p>・「早寝・早起き」「家庭での読書」「メディアコントロールの取組」など、家庭教育との連携が必要な項目の評価が低い。価値観の多様化、保護者の多忙化等、様々な要因が考えられるが、こういった現状を受け止め、子供たちの成長のために学校では何をどこまでできるかを模索したい。</p>